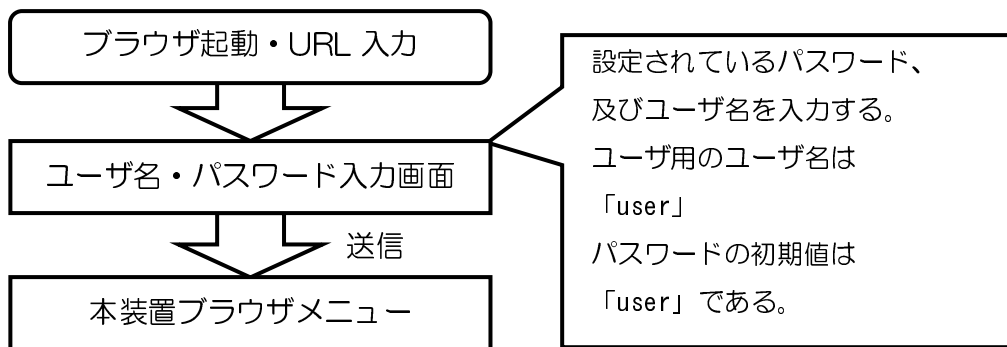

VG-X/VG2330X バージョンアップ更新手順書

1.1 システムデータ設定

1.1.1 設定方法について

本装置のデータ設定は、LAN インタフェースに接続されたパソコンから Web ブラウザにより行う。日本語により表示されるので画面に従って各種データを設定していく。本装置は、LAN 上に接続されたパソコンにより、各種データ設定や状態、ログなどの表示を行う。

本装置にはじめてアクセスするときは、パスワードによる認証が要求される。



本装置の設定を変更する場合、下記手順にて行う。

- マウスを使用してブラウザ上の項目を指定し、キーボードにて必要な変更を行う。
- その後、「設定保存」ボタンをクリックして変更内容を本装置へ設定する。
「設定保存」ボタンをクリックしないと本装置は変更内容を認識できない。
- ブラウザ上の変更内容を元に戻したい場合には「元に戻す」ボタンをクリックする。
- 必要な変更について、全て「設定保存」する。
内容を有効にするためには、本装置の再起動が必要となる場合があり、変更された内容は再起動後に有効となる。

注意事項

- ※ 「元に戻す」ボタンをクリックすると、変更内容が元に戻るが、一旦「設定保存」ボタンで設定した内容は元に戻せない。
- ※ 「設定保存」ボタンをクリックする前に、他の設定画面等を開いた場合、設定した値は破棄される。
- ※ 稼働中の本装置の設定変更を行う場合は、変更を行う前に「装置設定の保存/復元」を参照し、現在動作中の設定内容を保存する。
- ※ リモート保守モード開始中は、LAN 側からデータ設定を行わないこと。
また、LAN 側から複数ブラウザによる設定を行わないこと。
- ※ 設定画面での操作は、画面内に配置されているボタン等で行うこと。Web ブラウザのボタンやキーボードでのショートカットを使用すると、正常に動作しない場合がある。
- ※ 通信の負荷が非常に高い場合、Web ブラウザによる画面表示が遅くなる場合がある。

1.1.2 URL について

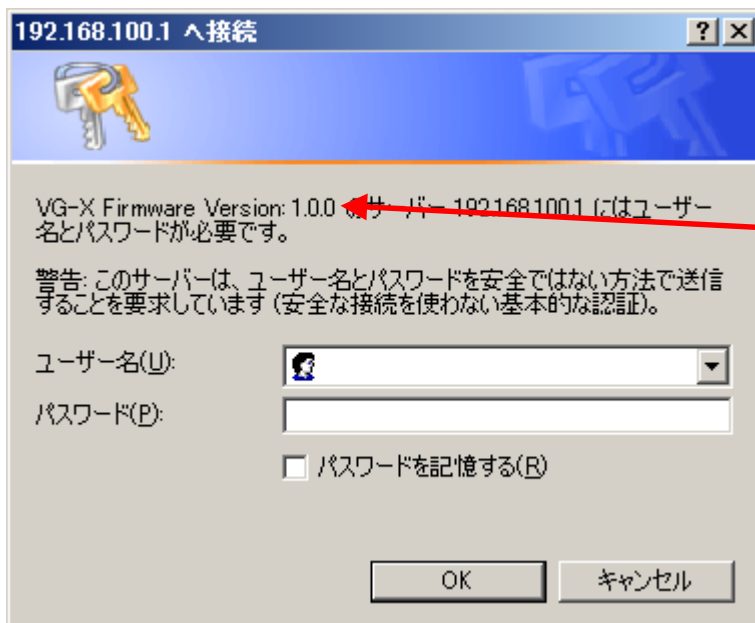
本装置のデータ設定／保守で使用する URL を示す。

- ユーザ用メニュー

http://ntt.setup/

または、本装置の LAN 側 IP アドレスの初期値を指定する。

http://192.168.100.1/



ポイント

ここにファームウェアバージョンを示している。最新のファームウェアバージョンか確認すること。

- ユーザ用のユーザ名とパスワード初期値は下記となる。

ユーザ名	user
パスワード	user

注意事項

※ 本装置はログアウト操作が無いいため、終了時は Web ブラウザを終了操作すること。

1.2 ファームウェア更新設定

本装置はネットワーク経由でシステムのファームウェアの更新を行うことができる。受信したファームウェアは、本装置の内部フラッシュメモリに格納する。ファームウェアの更新を行うと、バージョンによって設定データの初期化が必要となる場合がある。ファームウェアの更新を行わない場合は、本来の機能・性能を發揮できない場合がある。

ファームウェアの更新方法には、次の 4 種類がある。

- ① 自動ファームウェア更新。
- ② ブラウザによる手動ファームウェア更新。
- ③ ビジネスホン等の電話機からの特番発信による更新。
- ④ ローカルファームウェア更新。

注意事項

- ※ 更新方法①～③のファームウェアは、オンラインでネットワークから取得する。
- ※ ファームウェア更新中に本装置の電源 OFF や再起動は内部メモリの破壊を引き起こす危険性が非常に高いため禁止する。
- ※ 本装置が再起動した場合、IP 端末を登録し直す必要がある。

1.2.1 自動ファームウェア更新

自動ファームウェア更新は、更新チェックにより事前に「更新あり」の通知を受けている場合、自動ファームウェア更新詳細設定で設定した日時から 1 時間以内にひかり電話網のサーバから本装置のファームウェアを自動的にダウンロードし、更新／再起動する。

手動/自動ファームウェア更新	
トップページ>ファームウェア更新>手動/自動ファームウェア更新	
ファームウェア更新	
手動更新後の自動再起動	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
ファーム更新時の一定量データ通信監視	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
自動ファームウェア更新詳細設定	
現在のファームウェアバージョン	1.0.0
現在時刻	2010/01/01 09:04:21
自動ファームウェア更新	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
ファームウェア更新開始モード	毎日
ファームウェア更新指定日	2010 年 1 月 1 日
自動更新時刻	4 時 0 分
<input type="button" value="設定保存"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	
手動ファームウェア更新	
手動ファームウェア更新	<input type="button" value="更新"/>

【手順】

- 1 Web ブラウザを起動して、メニューを開く。
- 2 メニューから「ファームウェア更新」をクリックする。
- 3 ファームウェア更新メニューから「自動/手動ファームウェア更新」をクリックする。
- 4 各項目を設定する。
- 5 「設定保存」をクリックして、設定した内容を保存する。

1.2.2 手動ファームウェア更新

Web ブラウザの設定画面から、手動でファームウェアを更新する。

手動/自動ファームウェア更新	
トップページ>ファームウェア更新>手動/自動ファームウェア更新	
ファームウェア更新	
手動更新後の自動再起動	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
ファーム更新時の一定量データ通信監視	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
自動ファームウェア更新詳細設定	
現在のファームウェアバージョン	1.0.0
現在時刻	2010/01/01 09:04:21
自動ファームウェア更新	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
ファームウェア更新開始モード	毎日
ファームウェア更新指定日	2010 年 1 月 1 日
自動更新時刻	4 時 0 分
設定保存	元に戻す
手動ファームウェア更新	
手動ファームウェア更新	更新

【手順】

- 1 Web ブラウザを起動して、メニューを開く。
- 2 メニューから「ファームウェア更新」をクリックする。
- 3 ファームウェア更新メニューから「自動/手動ファームウェア更新」をクリックする。
- 4 手動ファームウェア更新の「更新」をクリックする。

注意事項

※「手動更新後の自動再起動」を「有効」にしている場合は、ファームウェアをダウンロード後に、自動的に再起動する。「無効」の場合は、装置再起動後に新しいファームウェアで起動する。

1.2.3 特番発信によるファームウェア更新

ビジネスホン等の電話機から特番発信することで、NGN 網上のサーバから本装置のファームウェアを自動的にダウンロードし、更新／再起動する。

【特番発信によるファームウェア更新手順】

- 1 ビジネスホン等の電話機より、IP 回線を収容した回線ボタンを捕捉する。
- 2 ファームウェア更新特番『00013』をダイヤルする。
 - ・更新がある場合は、800Hz で 125ms(ON)、125ms(OFF)、125ms(ON)、625ms(OFF)を繰り返し送化する。
 - ・更新がない場合は、800Hz で 250ms(ON)、250ms(OFF) を繰り返し送化する。
 - ・バージョンアップ通知サーバからレスポンスがない等のエラーが発生した場合は、BT を送化する。
- 3 更新がある場合は、自動的にファームウェアの更新が行われる。
- 4 ファームウェアの更新が終了すると、自動的に再起動を行う。
更新完了時に通話中の場合は、通話呼を切断し再起動を行う。
ただし、緊急通報中の場合は再起動されない。
- 5 再起動後に、トップ画面の Version を確認してファームウェアの更新が行われていることを確認する。

注意事項

- ※ ファームウェア更新中に本装置の電源 OFF や再起動は内部メモリの破壊を引き起こす危険性が非常に高いため禁止する。
- ※ ファームウェア更新特番操作後に、可聴音を聴取せず途中放棄した場合でもファームウェアの更新処理は行われる。
- ※ ファームウェア更新通知特番『00012』をダイヤルすることで、最新のファームウェアの有無確認を行うことができる。
 - ・最新のファームウェアがある場合は、ガイダンス「新しいファームウェアへのバージョンアップが可能です。0 を 3 回、1 を 1 回、3 を 1 回ダイヤルしてください」を繰り返し送化する。
続けて更新を行う場合は、一旦切断し、更新手順を実施すること。
 - ・最新のファームウェアがない場合は、ガイダンス「新しいファームウェアへのバージョンアップ情報はありません」を繰り返し送化する。
 - ・バージョンアップ通知サーバからレスポンスがない等のエラーが発生した場合は、BT を送化する。
- ※ 本装置が再起動した場合、IP 端末及び、下部VoIPゲートウェイ装置を再登（REGISTER 登録）する必要がある。

1.2.4 ローカルファームウェア更新

ファームウェアのファイルをパソコンに用意し、パソコンからの操作でファームウェアの更新を行う。

The screenshot shows a web browser window with the following content:

- Page title: ローカルファームウェア更新
- Breadcrumb: トップページ > ファームウェア更新 > ローカルファームウェア更新
- Warning box: ファームウェアのファイル名・ディレクトリ名には、全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。
- Section: 現在のバージョン
- Table:

ファームウェア	1.0.0
---------	-------
- Section: 保守端末からのファームウェア更新
- Form: ファームウェア更新ファイル選択 [input type="text"] [参照...]
- Button: 更新
- Text: ※ 参照でファイル選択したファームウェアを装置へ送信後、ファームウェアの更新が行われ、設定内容によっては自動的に再起動を行います。

【ローカルファームウェア更新手順】

- 1 Web ブラウザを起動して、メニューを開く。
- 2 メニューから「ファームウェア更新」をクリックする。
- 3 ファームウェア更新メニューから「ローカルファームウェア更新」をクリックする。
- 4 ファームウェアファイル名をドライブ名から入力するか、「参照」ボタンをクリックして、ダウンロードするファームウェアのファイルを選択する。
- 5 「更新」ボタンをクリックする。
- 6 「ファームウェアのバージョンアップを開始します」と表示されたら「OK」をクリックする。
- 7 正常にファームウェア更新が終了すると、装置が再起動される。
(「手動更新後の自動再起動」設定によっては、別途再起動操作が必要。)
- 8 再起動後に、トップ画面のファームウェアバージョンを確認して、ファームウェアの更新が行われていることを確認する。

注意事項

- ※ ファームウェア更新中に本装置の電源 OFF や再起動は内部メモリの破壊を引き起こす危険性が非常に高いため禁止する。
- ※ 通話中に再起動を行うと通話が切断される。ただし、緊急通報中の場合は再起動されないため、手動での再起動が必要となる。
- ※ 本装置が再起動した場合、IP端末及び、下部VoIPゲートウェイ装置を再登（REGISTER 登録）する必要がある。